



令和8年2月9日

報道機関 各位

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

副病院長・消化器内科部長

日本膵臓学会認定指導医 林 香月

医事課長 渡邊 仁史

電話:052-721-7171(代表)



名古屋市立大学 東部医療センター  
医 学 部 附 属

## 膵臓がん検診を開始します

このたび東部医療センターでは、東海地区の国公立大学病院で初の膵臓がん検診を下記のとおり開始します。

### 記

1 開始日

令和8年2月9日(月)

2 予約受付開始日

令和8年2月9日(月) 8:45～

医事課: 受付 受付窓口・検診担当 052-721-7171(代表)

3 検査料金(税込)

142,000 円 (MRI 不可の場合は CT : 134,000 円)

4 実施項目

1 泊 2 日(金曜 13 時から、翌土曜朝まで特別室入院)で下記の項目を行います。

① 問診

② 採血(膵臓がんマーカー)

③ 腹部超音波

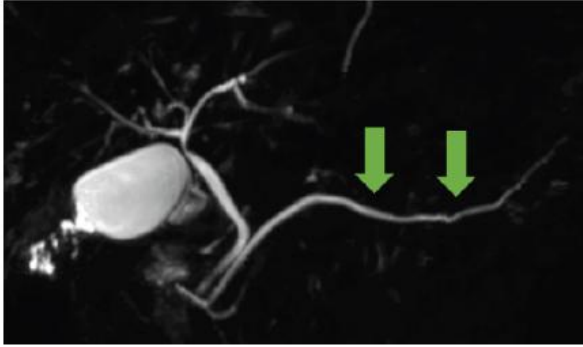
④ MRI(MRCP) ※閉所恐怖症の方等は CT に変更

⑤ 超音波内視鏡(鎮静:眠って) ※日本膵臓学会認定指導医が施行

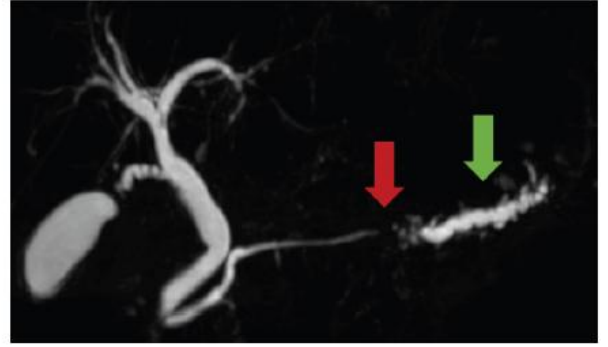
⑥ 翌朝に前日の結果を報告

## 5 主な検査の有用性・MRI(MRCP)

膵臓がんの早期発見には膵管の形態変化が有用とされています。MRCP は、MRI を用いて「膵管」や「胆管」の形を詳しく調べる検査です。膵管のわずかな“狭さ”や“ふくらみ”を見つけることで、膵臓がんの早期の異常を見逃さずに発見できる可能性があります。



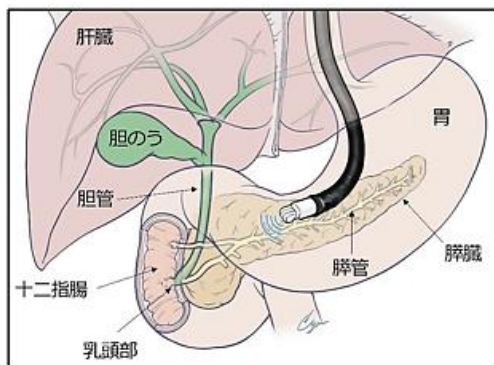
【正常例】膵管の形態を鮮明に描出可能です。



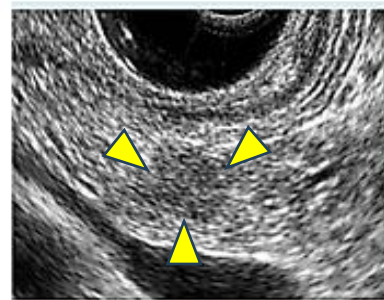
【膵腫瘍の症例】膵管が病変部で狭くなり、流れが悪くなった上流側の膵管はふくらんでいます。

## 6 主な検査の有用性・超音波内視鏡

超音波内視鏡は内視鏡の先端に超音波装置があり、胃や十二指腸から膵臓を観察します。膵臓は胃や十二指腸に近接しているため、超音波画像で詳細で鮮明な膵臓の観察や膵臓がんの診断が可能です。



イメージ図：日本膵臓学会より



2006年 林 香月ら

超音波内視鏡で診断した 7mm の膵臓がん

## 7 問い合わせ先

東部医療センター医事課 担当：渡邊仁史、田之頭貴博

電話：052-721-7171（代表）